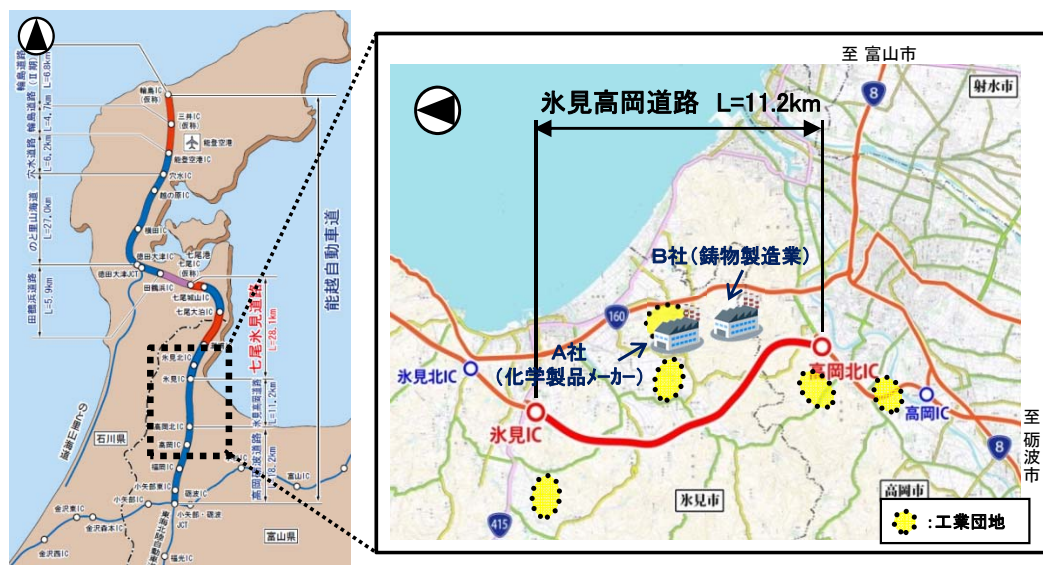


工業用地誘致の促進

- 氷見高岡道路供用後に氷見市への新規企業の進出がみられた。
- また、氷見高岡道路供用後に氷見市の事業所建築面積及び製造品出荷額が増加しており、地域産業の発展に寄与している。
- 新規企業立地による氷見市への経済波及効果は約284億円と試算される。

■ 位置図



■ 新規立地企業の概要

【A社（化学製品メーカー）：光学フィルム工場の新設】

- 所在地：氷見市上田子
 - 稼働開始：平成19年9月
 - 延べ建築面積：約22,000㎡
 - 建設投資額：約100億円
- 液晶テレビの需要増加、画面の拡大に伴い光学フィルムの採用が拡大していることに対応するため、新工場を建設。
 - 建設場所として、高規格道路とのアクセスの良さという観点から氷見市を選定。

【B社（鋳物製造業）：鋳鉄工場の新設】

- 所在地：氷見市下田子
 - 稼働開始：平成21年12月
 - 延べ建築面積：約18,000㎡
 - 建設投資額：約80億円
- 中国や東アジアなどの新興国市場において、各部品の素材となる鋳鉄品需要増加が見込まれることから新工場を建設。
 - 納品時間を短縮するため、高規格道路へのアクセス性を重視した。

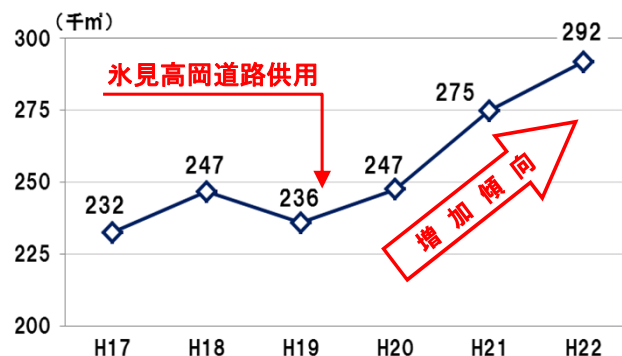
■ 氷見市の企業立地による経済波及効果の試算

氷見高岡道路供用後に氷見市に新設された工場の建設投資額：**約180億円**

【化学製品メーカー：約100億円 鋳物製造業：約80億円】

氷見市の企業立地による経済波及効果：約284億円

■ 氷見市の事業所延べ建築面積の推移



※ 出典：氷見市の統計



氷見高岡道路 高岡北IC全景
（氷見IC方面を望む）



- ① 直接効果・・・新規企業立地によって氷見市内の産業に直接的にもたらされる生産誘発額(=建設投資額)
- ② 第一次波及効果・・・直接効果での生産増加に伴い誘発された各産業の生産増加額
- ③ 第二次波及効果・・・直接効果及び第一次波及効果により誘発された雇用者所得の消費による生産誘発額

※ 経済波及効果算出方法：平成17年富山県産業連関表(富山県統計調査課)